

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度技術情報第14号(茶樹のカンザワハダニ)について(送付)

茶樹のカンザワハダニについての情報をとりまとめましたので送付します。

カンザワハダニの寄生葉率は、多発した昨年と比較すると低い状態ですが、昨年末から1月にかけての気温が平年より高めに推移したことから、産卵が早く、多発した昨年と同等か高い産卵率が認められます。今後の発生状況の把握に努め、防除を行ってください。

- 1 農作物名 茶樹
- 2 病害虫名 カンザワハダニ
- 3 予報内容
 - (1) 発生地域 県内全域
 - (2) 発生量 並～やや多
 - (3) 発生時期 平年並

4 情報の根拠

- (1) 1月中旬の巡回調査では、発生ほ場率は74%(昨年70%)と昨年並に高く、寄生葉率は4%(昨年9%)と昨年より低かった(図1)。産卵率は74%(昨年59%)と多発した昨年より高かった(表1)。
- (2) 2月上旬の県経済連による調査(南薩, 曾於・肝属の一部)では、寄生葉率は6%(昨年17%)と昨年より低かったが、産卵率は49%(昨年53%)と昨年並に高かった(表2)。
- (3) 向こう1か月の気温は平年並か低いと予報されており、発生時期は平年並と予想される。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 多発した昨年と比較して、産卵率は同等か高いので、今後の気温の推移に注意し、ほ場での発生状況を把握する。
- (2) 多発生ほ場では、春期基幹防除前に、成虫に効果の高い薬剤で補完防除を行う。
- (3) 春期基幹防除は、平均気温が10℃を超える頃(2月下旬から3月上旬頃)を目安に行う。
- (4) 薬剤は、裾部・葉裏を重点に散布する。

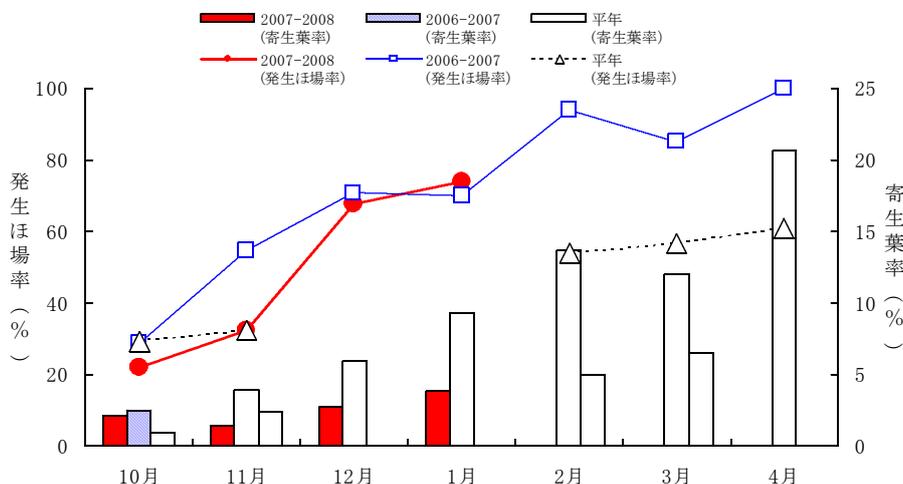


図1 カンザワハダニの発生ほ場率と寄生葉率

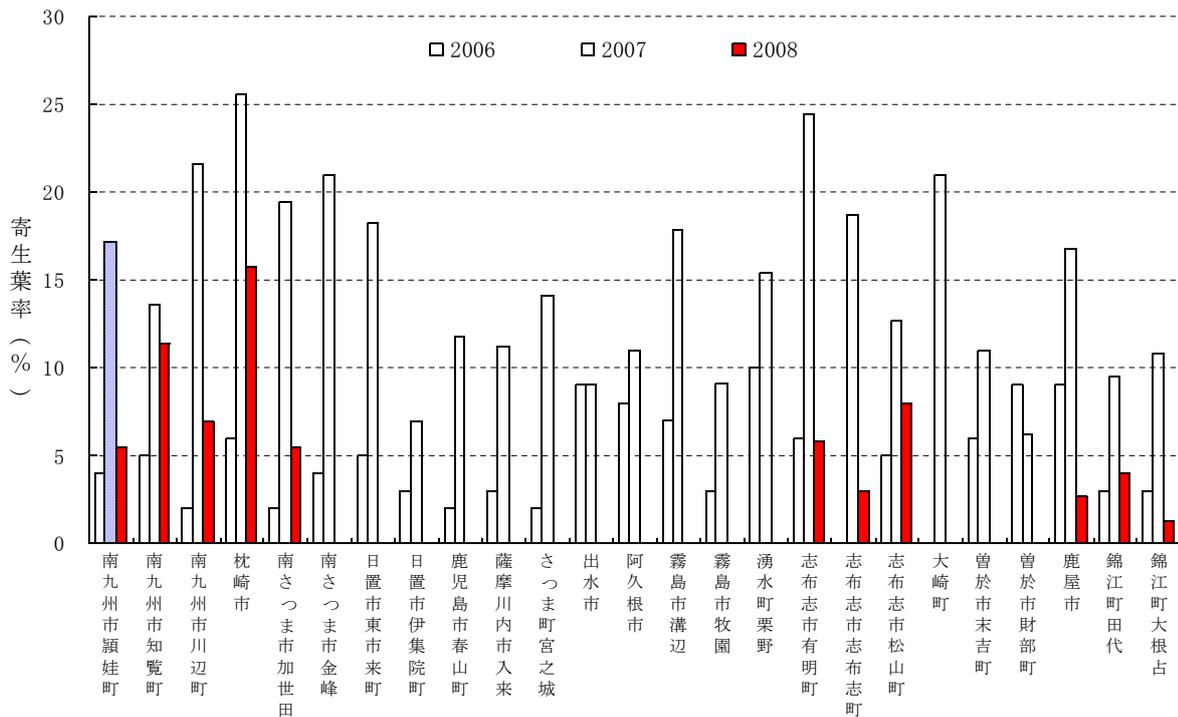


図2 2月上旬のカンザワハダニ寄生葉率(県経済連調査 2008年2月8日現在)

表1 1月中旬の巡回調査地点でのカンザワハダニ寄生虫数および産卵葉率(病害虫防除所調査)

採取地点 ¹⁾	調査寄生葉 (枚)	寄生葉率(%)		20寄生葉当たり虫数			産卵葉率(%) ²⁾		備考
		2007	2008	成虫	幼若虫	卵	2007	2008	
南九州市穎娃町谷場	31	0	2	80	67	354		74	
南九州市穎娃町青戸	50	13	4	96	118	427	87	80	
南九州市知覧町菊永	50	0	7	67	119	431	54	82	
南九州市川辺町塘池	45	22	1	82	101	105		64	
枕崎市中原	72	16	9	92	151	407		73	
南さつま市加世田東山	7	22	1	46	109	243		71	
日置市伊集院町飯牟礼	11	7	0	25	7	87		55	
鹿児島市春山町	17	7	1	33	34	54	69	53	
さつま町舟木	48	8	5	118	504	474	59	83	
出水市平和	26	1	7	105	32	94		54	
霧島市溝辺論地	52	9	8	95	97	124	36	69	
志布志市有明町野井倉	48	12	7	81	110	362	54	85	
志布志市有明町原田	40	18	3	81	77	129		63	
鹿屋市東原	13	5	1	54	155	289	54	77	
錦江町大根占・田代	13	0	0	-	-	-	-	-	
合計(平均)	523	9	4	75	120	256	59	76	← 2007と同地点平均
								70	← 調査全地点の平均

1) 寄生葉の採取は、2007年が2007年1月16～23日、2008年が2008年1月17～23日に行った。

2) 産卵葉率は、寄生葉の中で産卵の確認された葉の割合を示す。

表2 2月上旬のカンザワハダニの寄生葉率、虫数および産卵率(県経済連調査)

2008年2月8日現在

採取地点 ¹⁾	寄生葉率		10葉当たり 成・幼虫・卵数		産卵率(%) ²⁾		備考
	2007	2008	2007	2008	2007	2008	
南九州市穎娃町	17	6	6.7	4.1	62	73	
南九州市知覧町	14	11	4.8	6.0	47	68	
南九州市川辺町	22	7	10.8	3.1	35	26	
枕崎市	26	16	15.4	3.8	43	46	
南さつま市加世田	19	6	5.4	3.5	20	32	
志布志市有明町	24	6	8.0	2.3	77	41	
志布志市志布志町	19	3	4.9	0.8	61	33	
志布志市松山町	13	8	3.9	2.4	47	31	
鹿屋市	17	3	8.7	1.1	56	50	
錦江町田代	10	4	1.8	1.8	67	81	
錦江町大根占	11	1	2.5	1.0	68	60	
合計(平均)	17	6	6.6	1.2	53	49	2007年と同地点の平均

1) 寄生葉の採取は、2007年が2007年2月7～15日、2008年が2008年2月7～8日に行った。

県内の他の地域は2月13、14日に調査予定。

2) 産卵率は、寄生葉の中で産卵の確認された葉の割合を示す。